

ガザ停戦合意



停戦合意のニュースに喜ぶパレスチナ人ら＝15日、ガザ南部ハンユニス（ロイター＝共同）



19日から6週間

イスラエルとハマス 人質解放へ

【エルサレム、ワシントン共同】イスラエルとイスラム組織ハマスはパレスチナ自治区ガザの停戦に合意した。仲介国カタールと米国が15日発表した。履行開始は19日。6週間戦闘を休止し、ハマスは人質33人を解放する。20日のトランプ次期米大統領就任直前の妥結となった。2023年10月のハマスによるイスラエル奇襲から15カ月以上経過し、ガザ側での死者は4万6千人を超えた。停戦維持と人質解放が順調に進み、恒久停戦につながるかどうかが焦点だ。

カタールのムハンマド首相 第1段階の期間中に、それ以降の停戦継続を協議。領が明らかにした合意内容によると、第1段階は6週間でハマスは人質のうち女性や高齢者、負傷者を解放。イスラエルは拘束するパレスチナ人数百人を釈放する。ガザへの人道支援も大幅に拡大。ガザ住民は避難先から全域に帰還できる。イスラエル軍はガザの人口密集地から撤収する。

ハマスは声明で停戦合意は「抵抗の成果」だと強調した。イスラエルメディアによると、ネタニヤフ首相は16日に治安閣議を開き、停戦合意を正式に承認する。イスラエル軍の空爆と地上侵攻はガザ全域に及び、人口の9割が自宅を追われた。